

2007年2月16日

2006年12月期 決算説明会

静岡ガス株式会社



目次

I 決算の概要	... 3
II 2007年12月期の見通し	... 16
III 今後の見通し 2007年～2009年	... 21
IV トピックス	... 32
南富士幹線	

配布資料

- | | |
|---------|-----------|
| ■ 説明用資料 | ■ 決算短信 |
| ■ 参考データ | ■ 会社案内等 |
| | ■ アンケート用紙 |

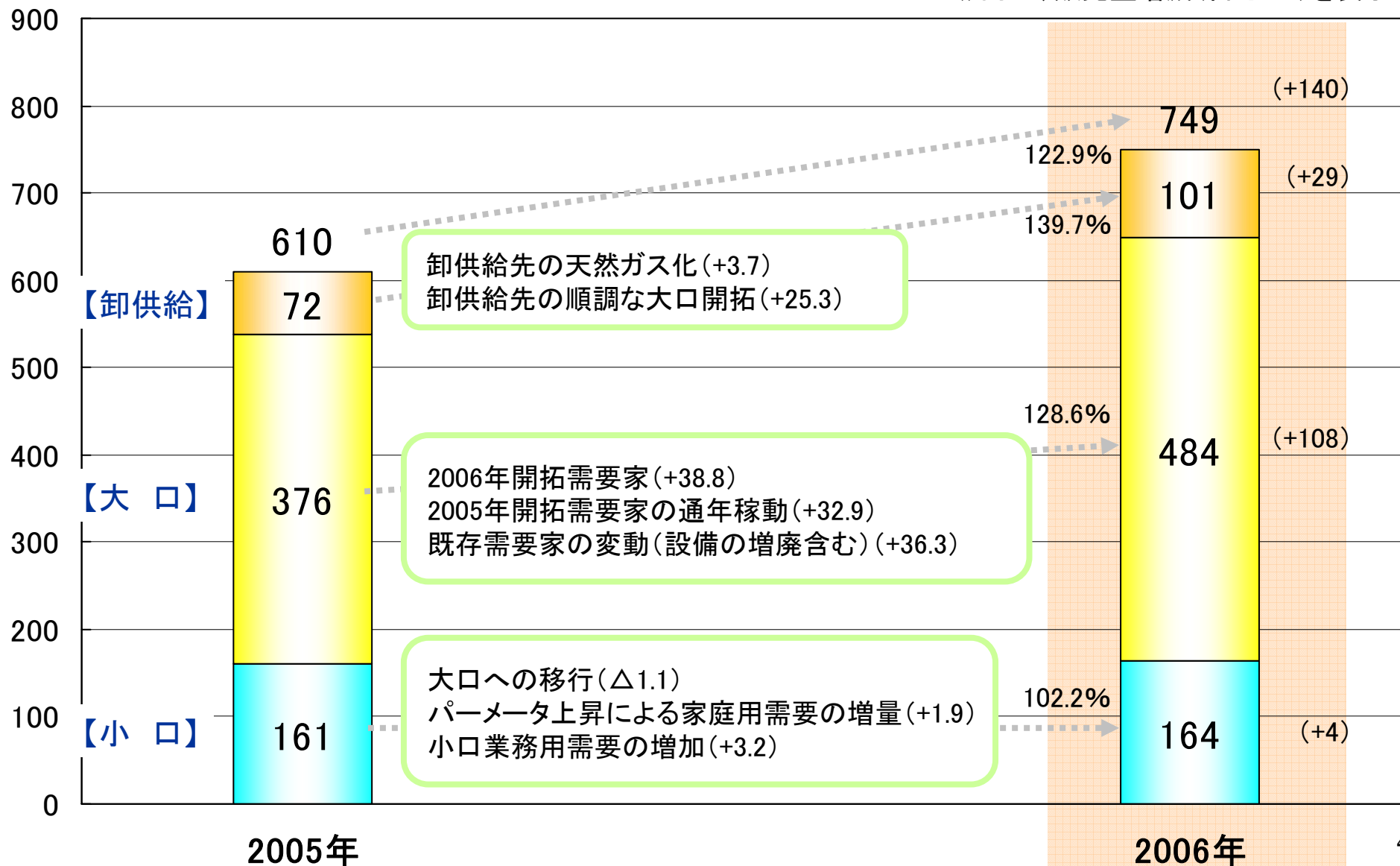
注意：本情報は、2007年2月16日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

I 決算の概要

ガス販売量実績(単体) 前期との比較

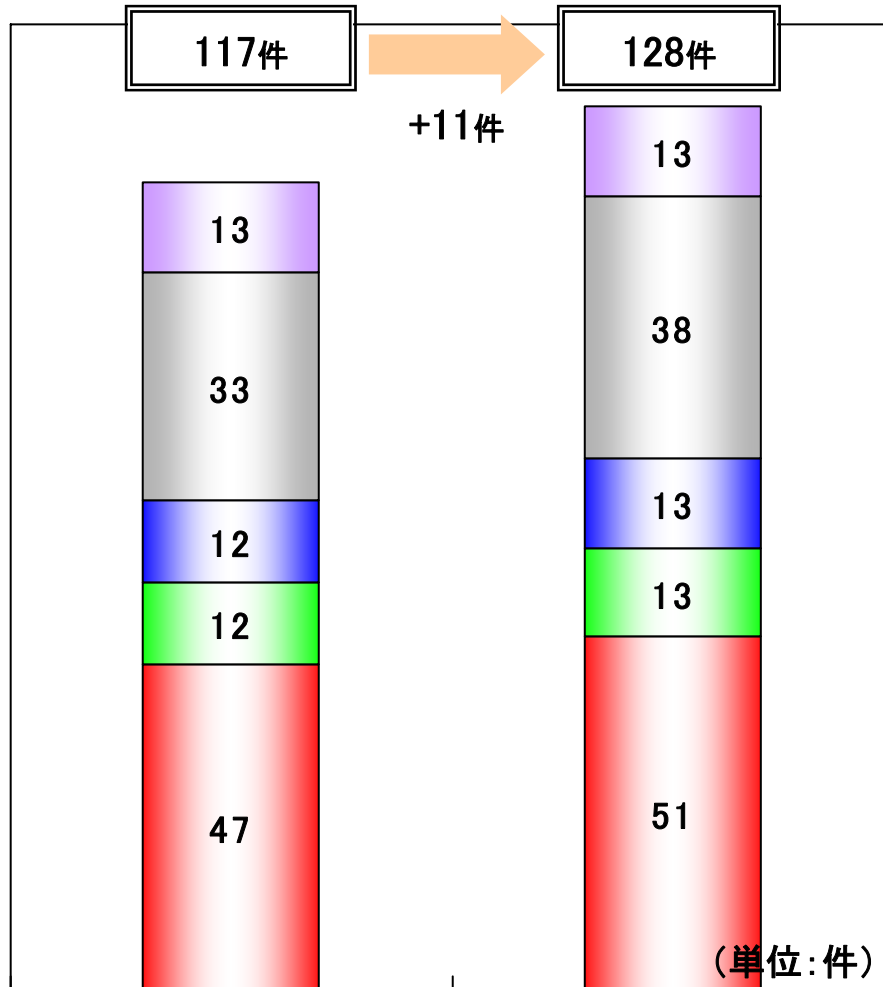
百万m³ (45MJ)

()内は、販売量増減(百万m³)を表示

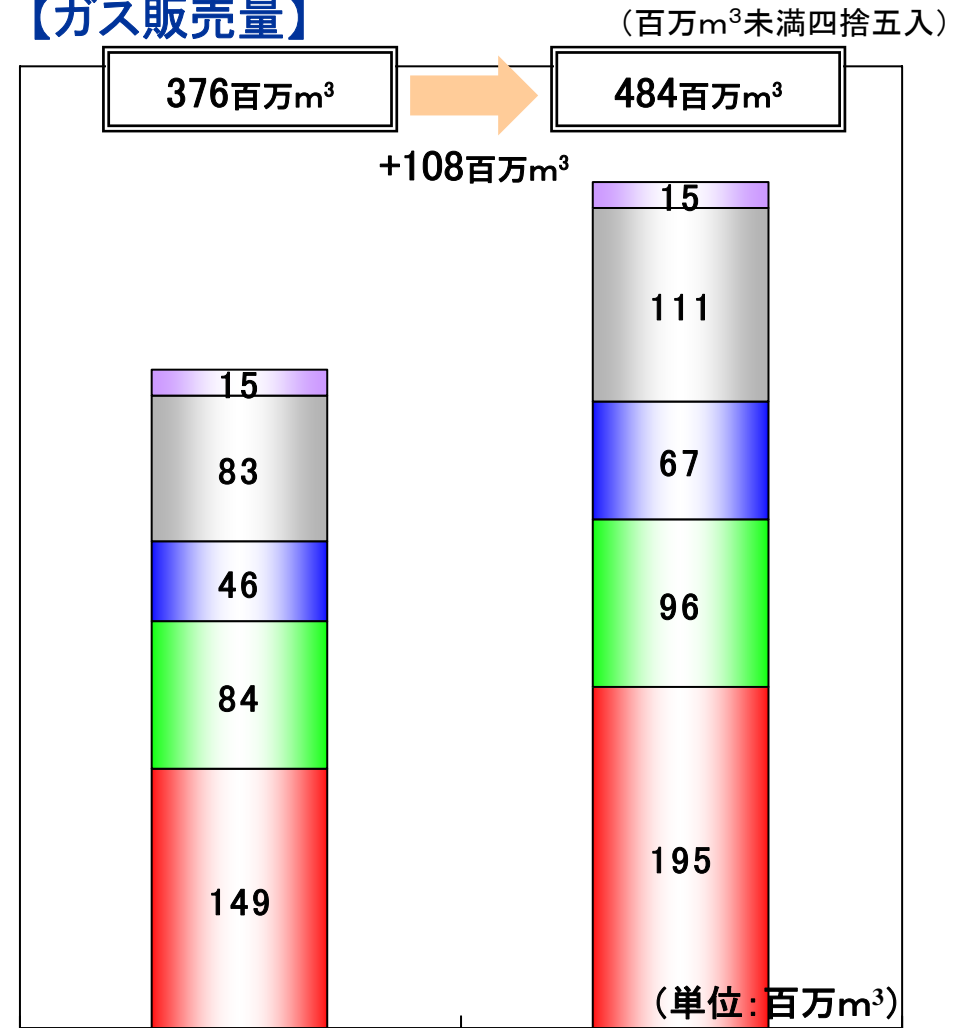


大口実績の推移

【件数】



【ガス販売量】

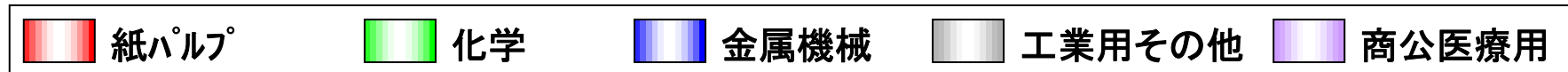


2005年12月

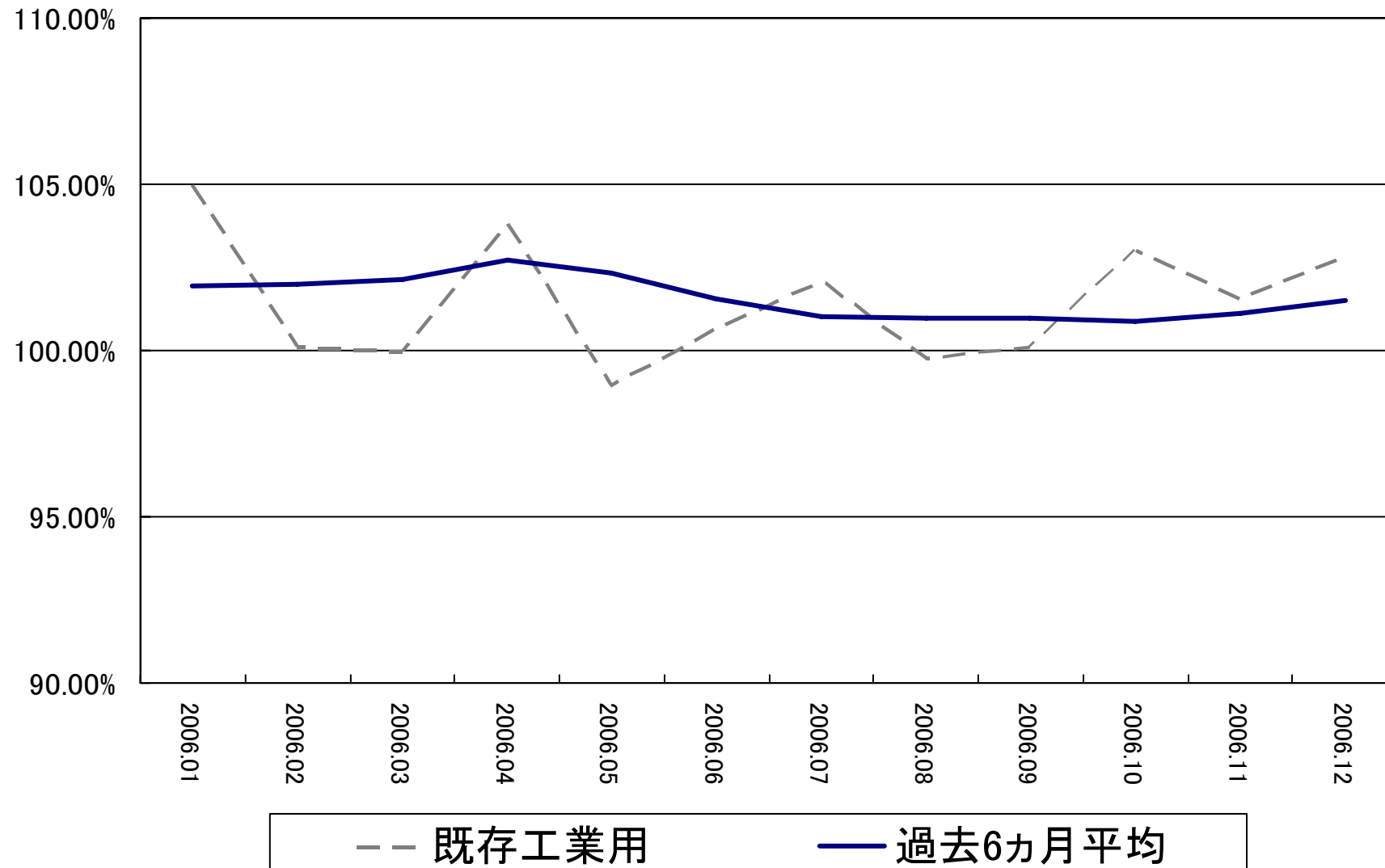
2006年12月

2005年1-12月

2006年1-12月

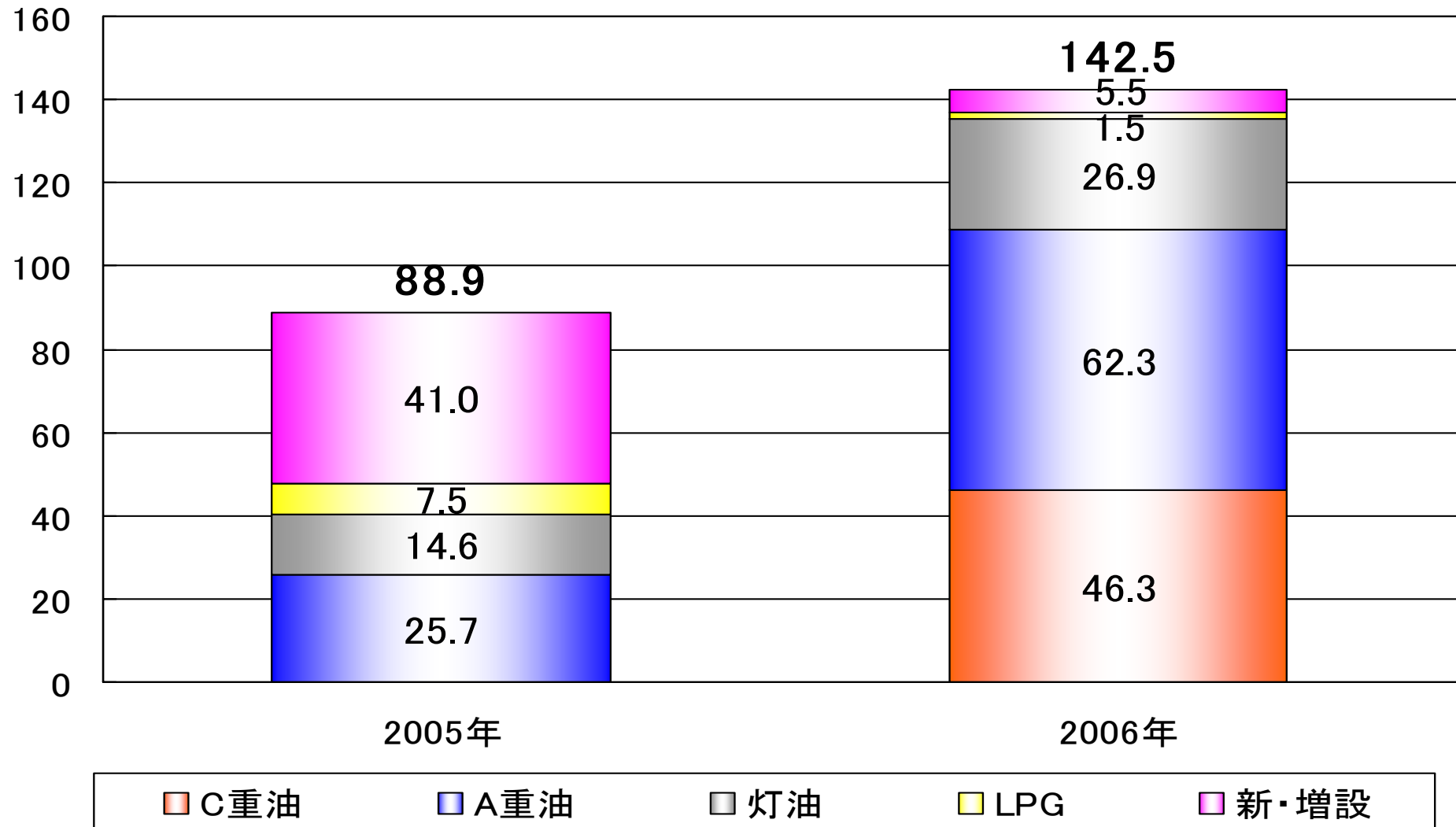


既存大口需要家の稼働状況



大口産業用開拓の内訳

百万m³ (開拓量ベース)

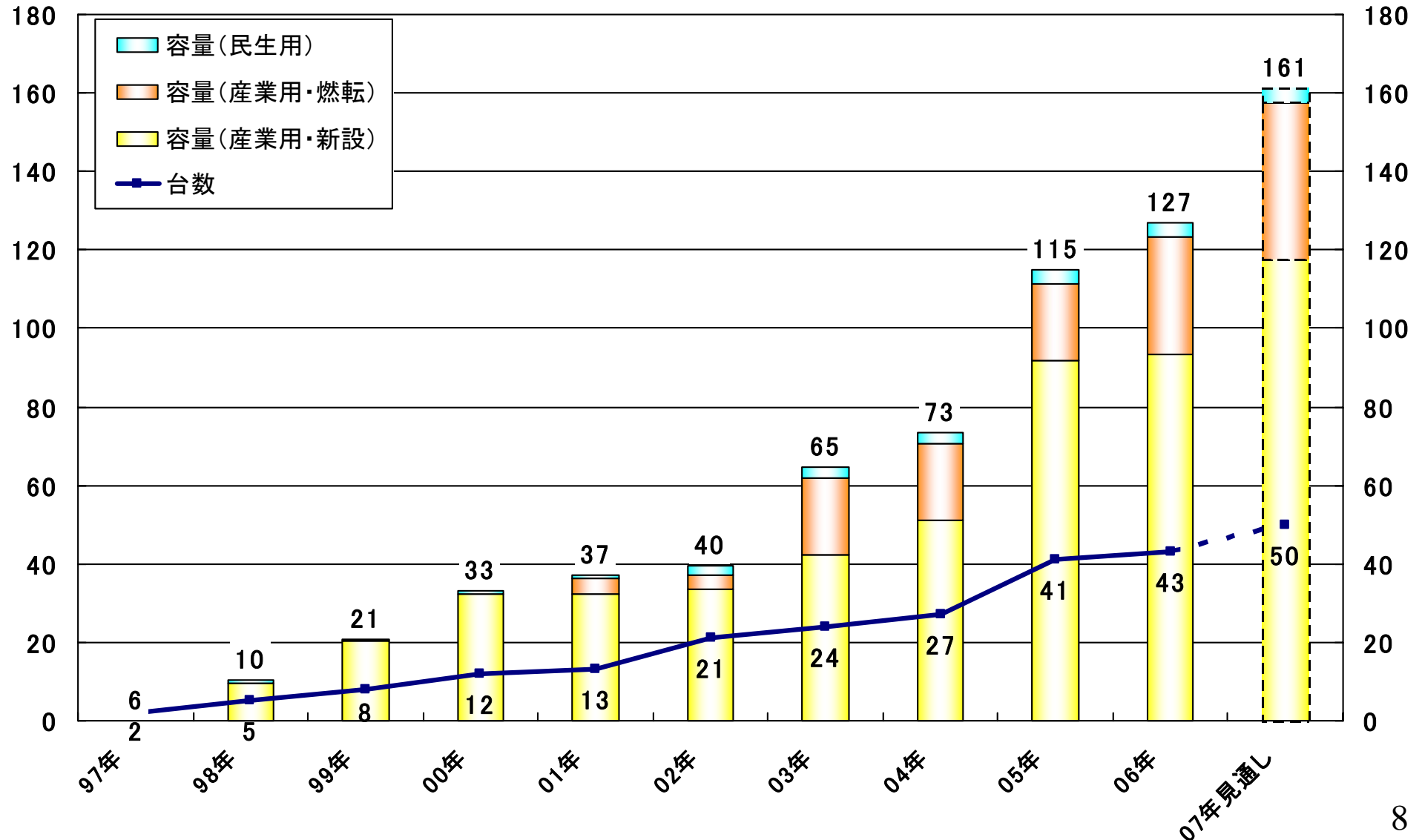


※開拓量＝通年ベースのガス使用量

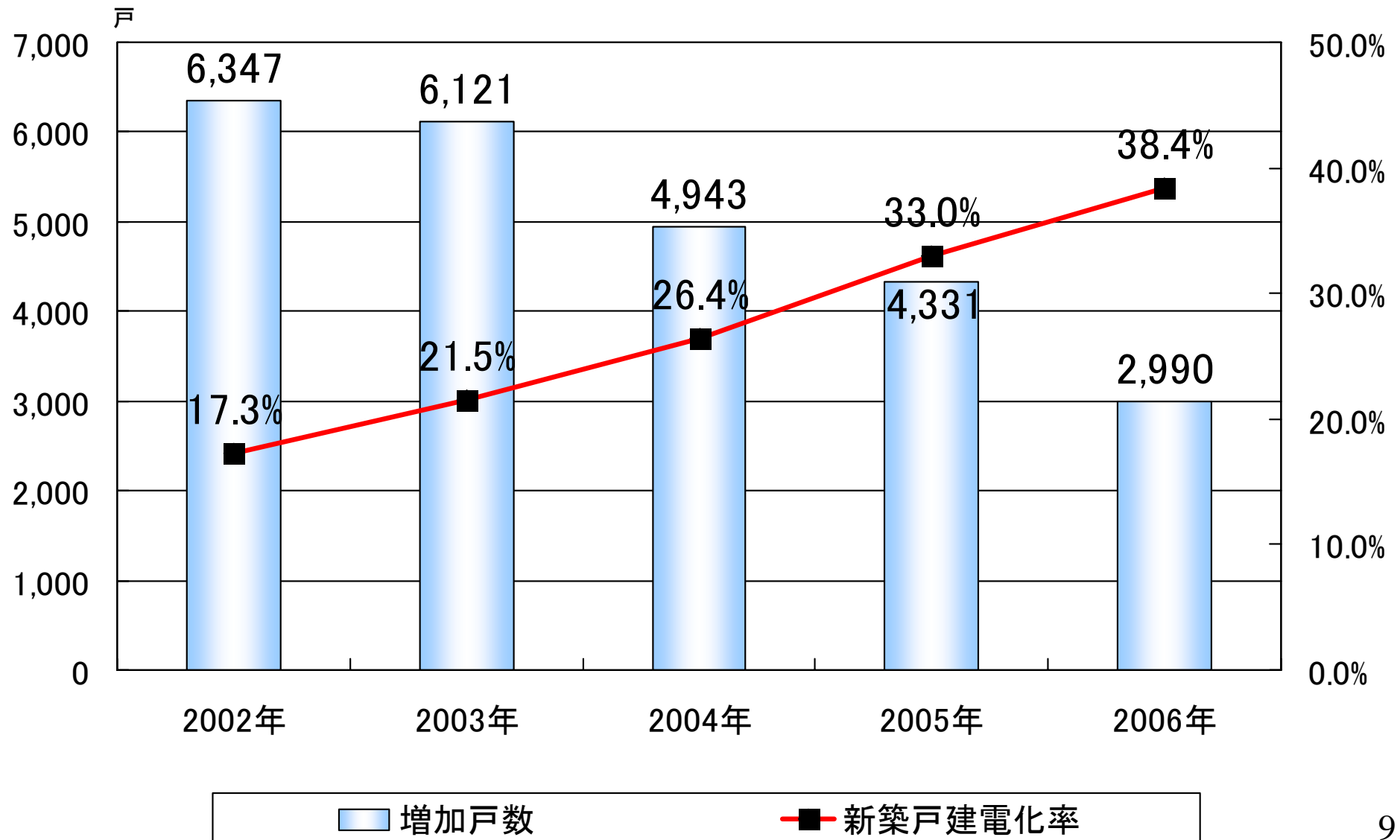
コージェネレーション普及状況(大口部門)

設備容量: 千kW

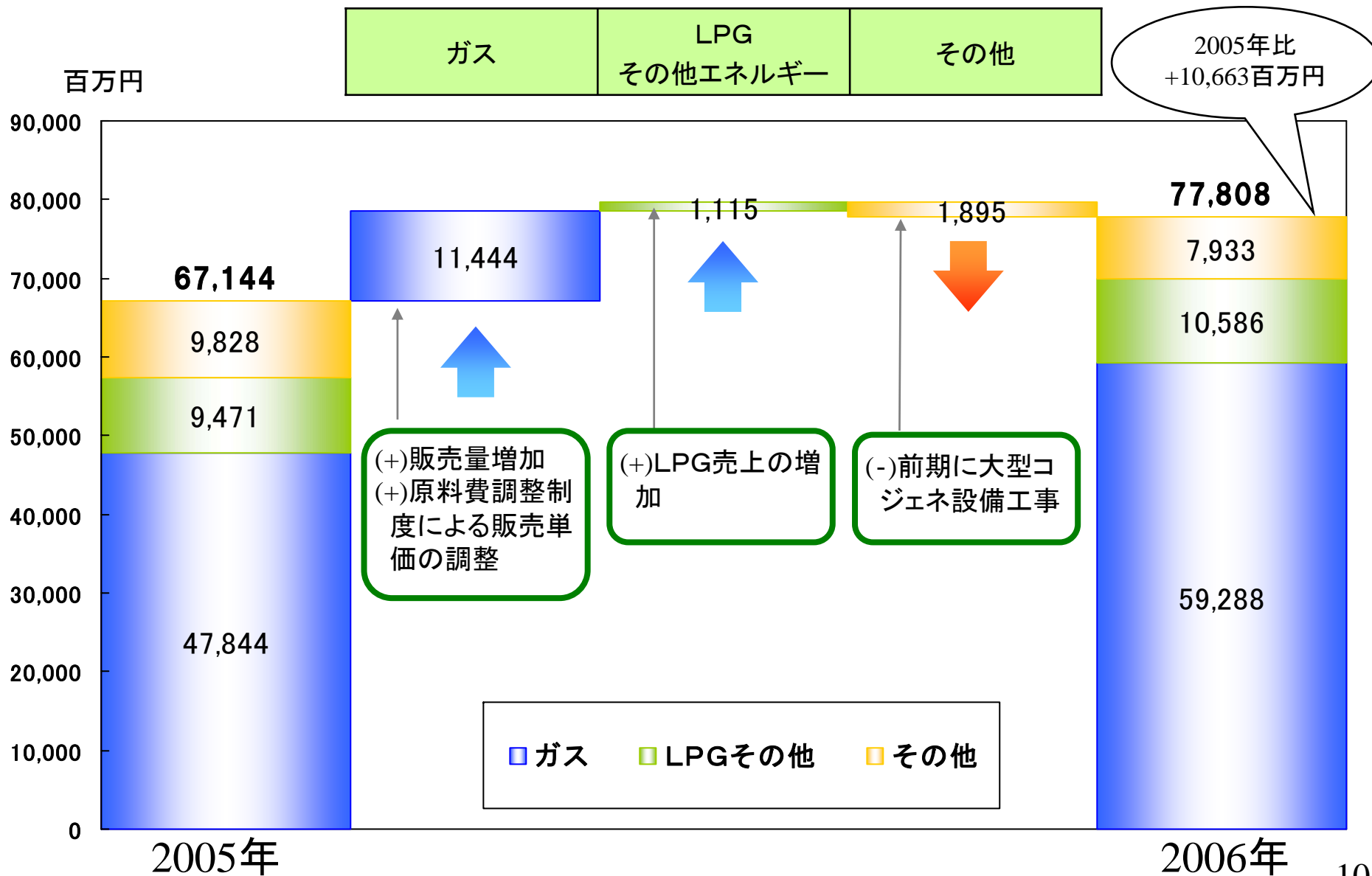
台数: 台



戸数増加と電化率の推移

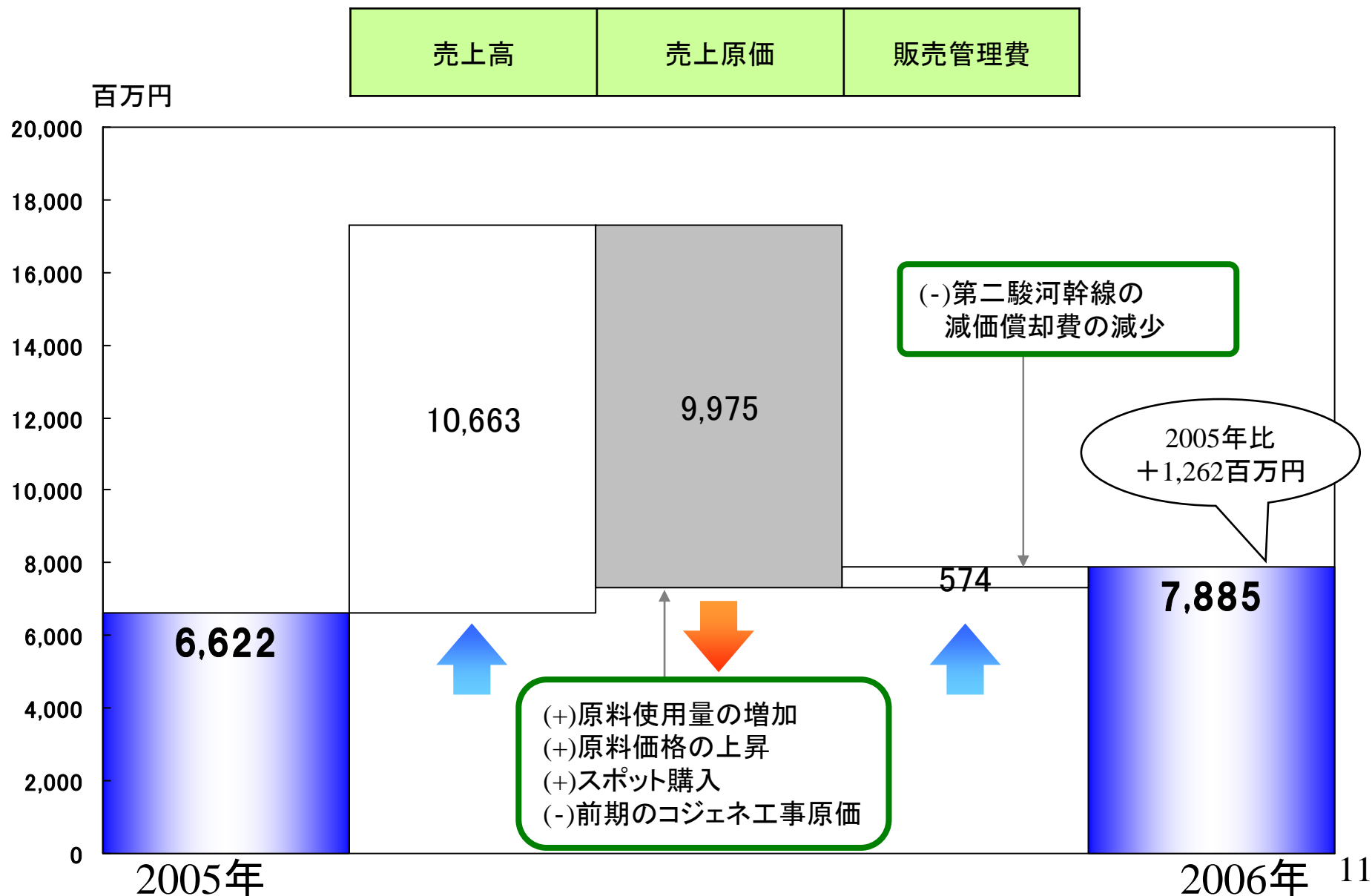


連結売上高(前期比較)



※外部顧客に対する売上高より算出しております。

連結営業利益(前期比較)



連結決算の総論

- ガス販売量は、堅調な大口需要開拓や、卸供給の拡大等により、静岡ガス単体で前期比22.9%増の7億5千万m³。連結では、前期比22.5%増の7億6千万m³。
- 連結ガス売上高は、ガス販売量の増加や原料費調整制度による販売単価の上方調整などにより、前期比24.0%増の599億円。総売上高は、前期比15.9%増の778億円。
- 営業利益は、原材料費の上昇により売上原価が増加したが、「第二駿河幹線」の減価償却費が減少したことなどにより、前期比19.1%増の78億円。
- 経常利益は、前期比26.2%増の74億円。
- 当期純利益は、前期比36.7%増の43億円。
- 配当金は、当期の業績を踏まえ、期末の配当金を50銭増加の4円。年間7.5円。

- 設備投資は、「第3号LNGタンク増設(2010年運用開始予定)」や天然ガス拡販のためのパイプライン整備を引き続き実施、前期比9.7%増の99億円。
- 有利子負債残高は、借入金返済が進み、前期末比8.2%減の480億円。

ガス販売状況(単体)

	2006年実績	2005年実績	増 減	前期比
お客さま戸数 (戸)	316,226	313,236	+2,990	101.0%
ガス販売量 (千m ³)	749,342	609,598	+139,744	122.9%
直 売 (千m ³)	648,291	537,264	+111,026	120.7%
家庭用 (千m ³)	97,664	95,684	+1,980	102.1%
商業用 (千m ³)	31,971	30,842	+1,128	103.7%
工業用 (千m ³)	485,152	376,372	+108,781	128.9%
その他用 (千m ³)	33,504	34,367	△863	97.5%
卸 供給 (千m ³)	101,051	72,333	+28,718	139.7%
うち大口供給				
大口販売量 (千m ³)	483,951	376,426	+107,525	128.6%
構 成 比 (%)	64.6	61.7%	—	—
コジェネ台数 (台)	43	41	+2	104.9%
コジェネ容量 (kW)	126,832	115,032	+11,800	110.3%

※大口供給:年間ガス使用量が50万m³以上のお客さまの使用量

収支の状況(連結)

	2006年実績	2005年実績	増減	前期比
売上高	77,808	67,144	+10,663	115.9%
売上原価	48,134	38,158	+9,975	126.1%
売上総利益	29,673	28,985	+688	102.4
供給販売費及び一般管理費	21,788	22,362	△574	97.4
うち諸給与・諸経費	14,619	14,909	△290	98.1
うち減価償却費	7,169	7,452	△283	96.2
営業利益	7,885	6,622	+1,262	119.1
営業外損益	△452	△735	+282	61.5
経常利益	7,432	5,887	+1,545	126.2
特別損益	310	323	△12	96.1
税金等調整前当期純利益	7,743	6,210	+1,532	124.7
当期純利益	4,359	3,189	+1,170	136.7
為替レート (円 / \$)	116.2	109.6	+6.6	106.0%
原油価格 CIF(JCC) (\$ / bbl)	64.1	51.0	+13.1	125.7%

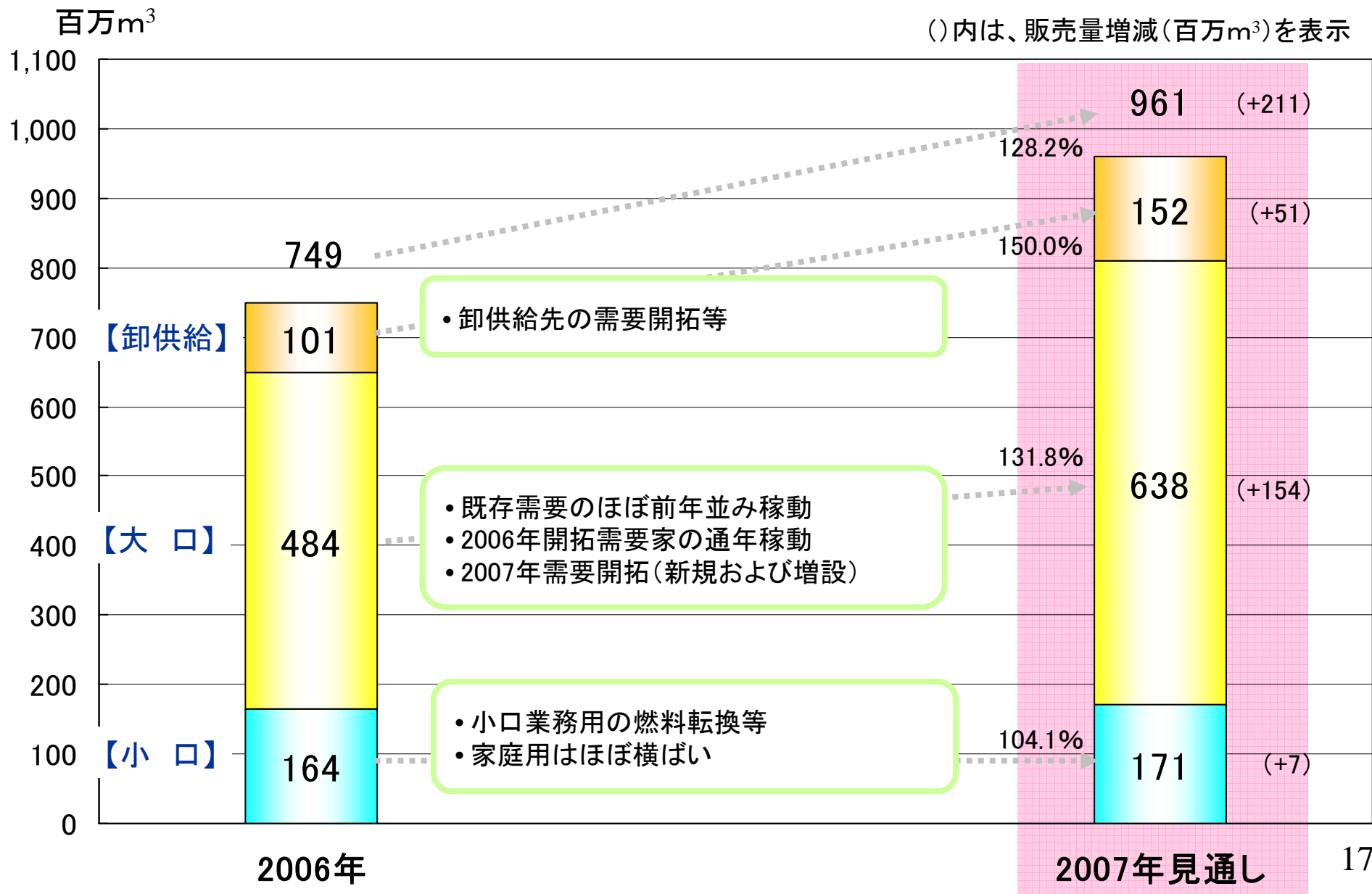
設備投資等の実績(連結)

(単位:百万円)

		2006年 実績	2005年 実績	増 減
設備投資等	設 備 投 資	9,986	9,104	881
	減 価 償 却 費	10,556	10,990	△434
	有 利 子 負 債	48,027	52,335	△4,307
キャッシュ・フロー計算書	営 業 キャッシュ・フロー	15,025	16,040	△1,014
	投 資 キャッシュ・フロー	△10,725	△9,069	△1,656
	財 務 キャッシュ・フロー	△4,851	△3,929	△922
	現 金 ・ 現 金 同 等 物 の 増 減	△551	3,042	△3,593
	現 金 ・ 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	8,021	8,572	△551

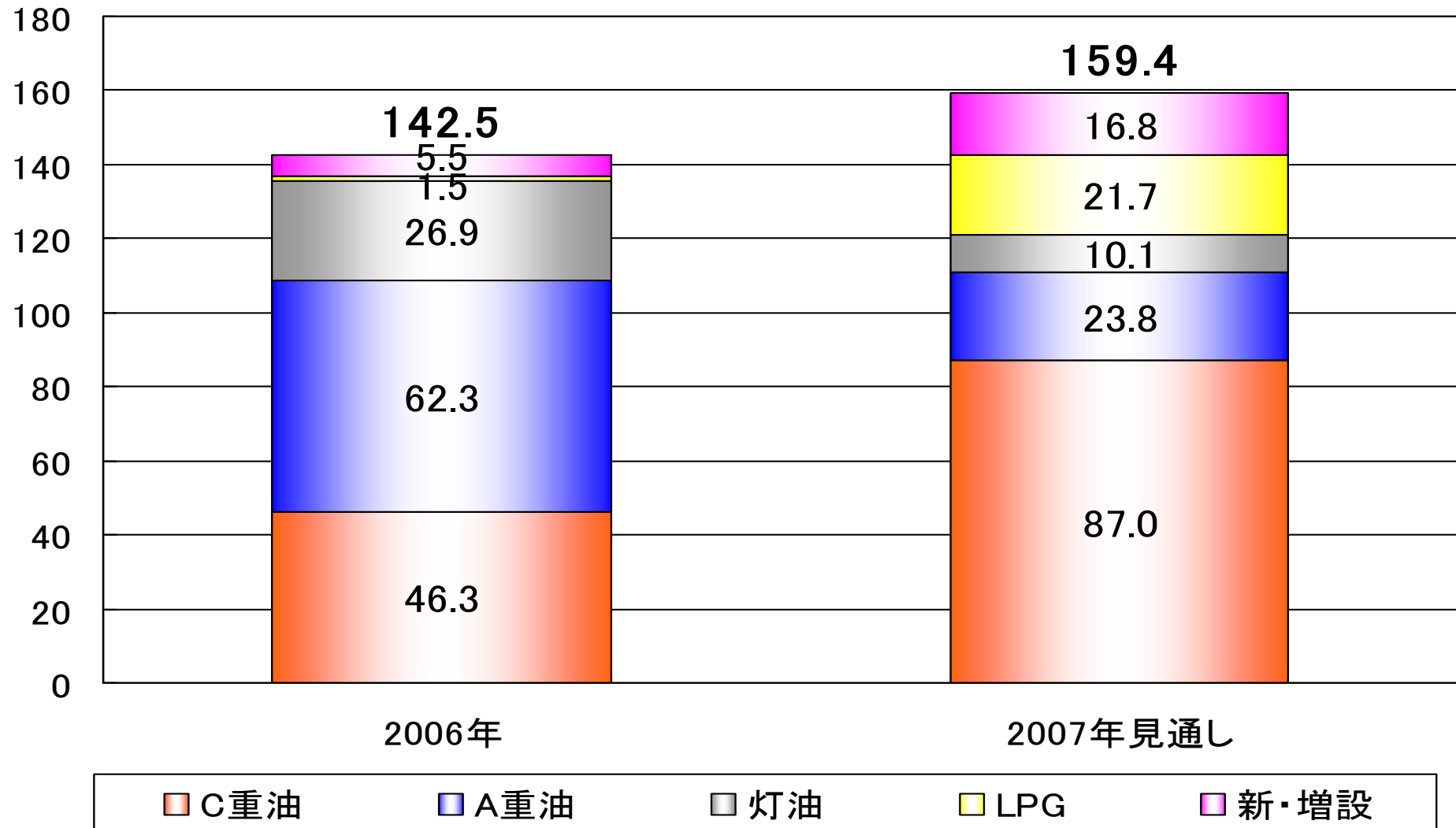
II 2007年12月期の見通し

ガス販売量見通し(単体)



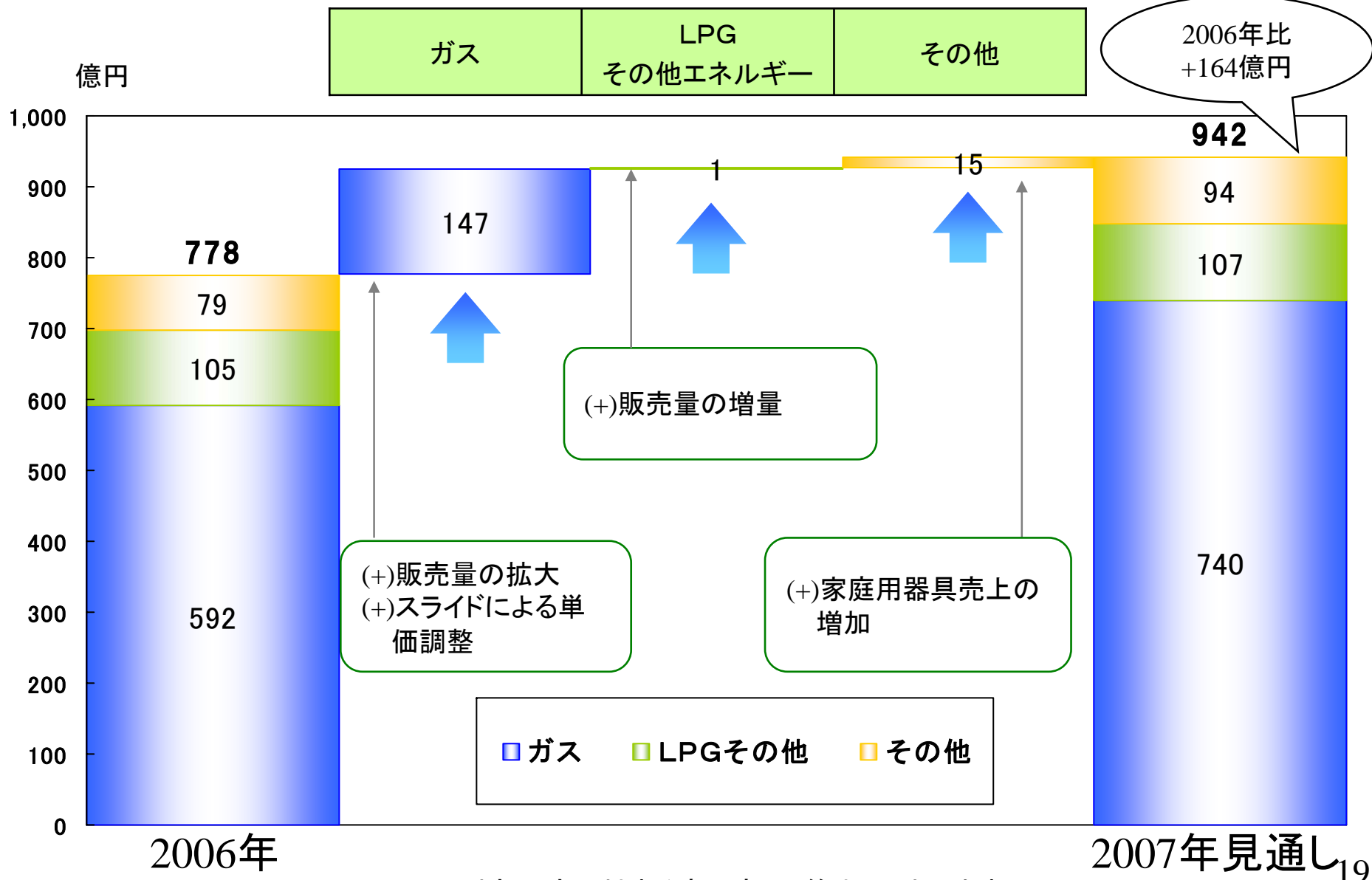
大口産業用開拓見通しの内訳

百万m³ (開拓量ベース)



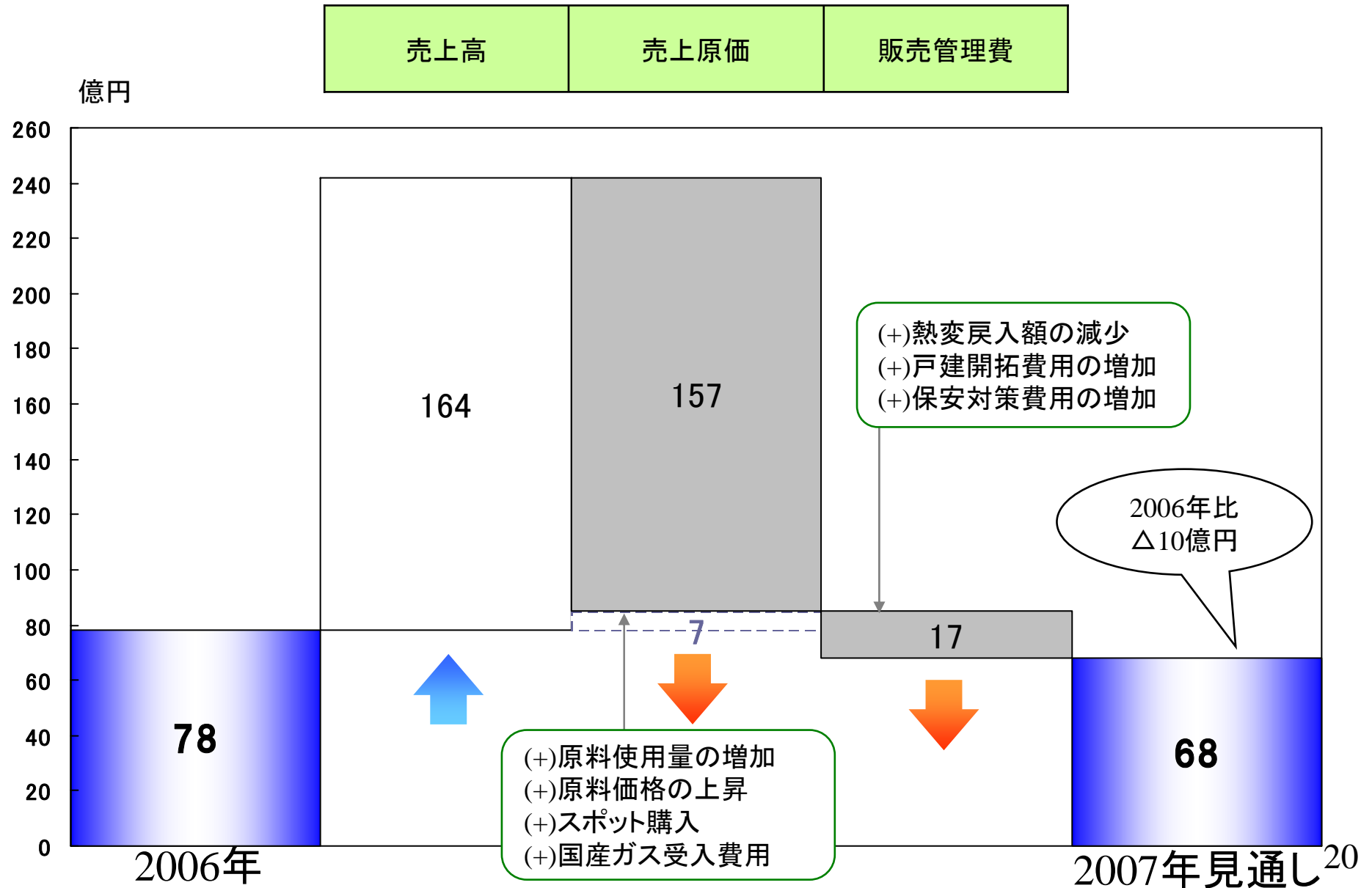
※開拓量＝通年ベースのガス使用量

連結売上高見通し(前期比較)



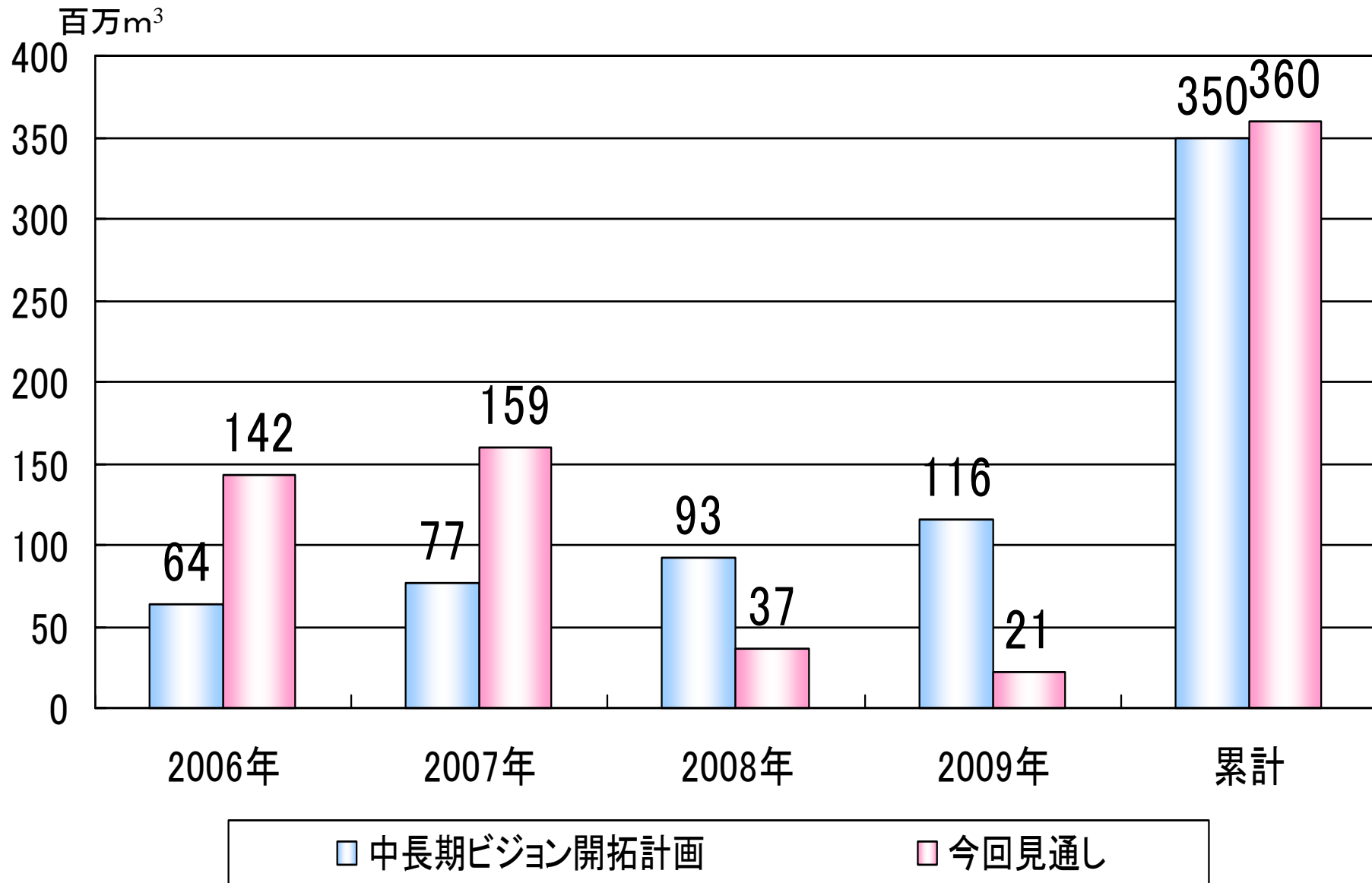
※外部顧客に対する売上高より算出しております。

連結営業利益見通し(前期比較)



III 今後の見通し 2007年-2009年

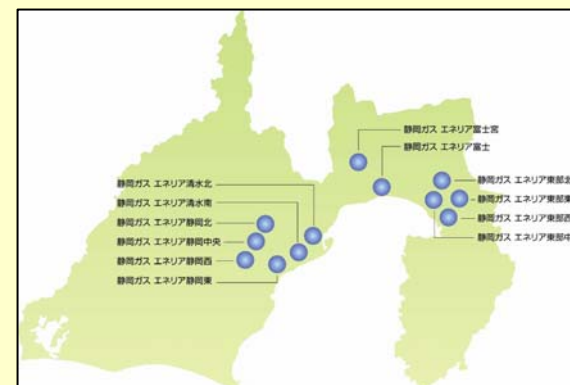
産業用需要の開拓見通し



エリア営業体制

エリアカンパニー「エネリア」

- 供給区域に12のエリアカンパニー
- 1カンパニー2万5千の需要家を担当
- 年間1～2回の「ふれあい巡回」を実施
- 近くて頼れるガス会社

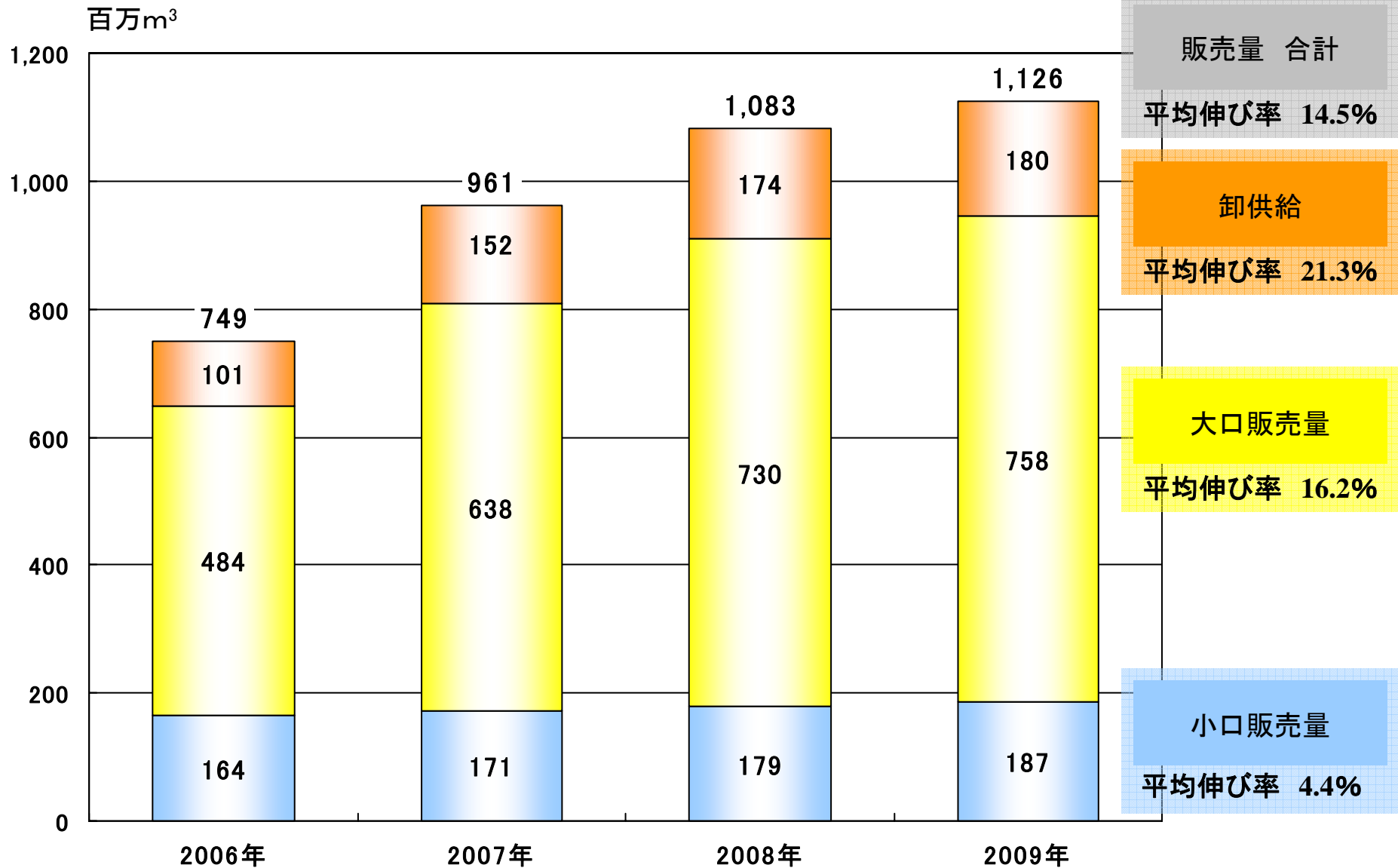


ショールーム

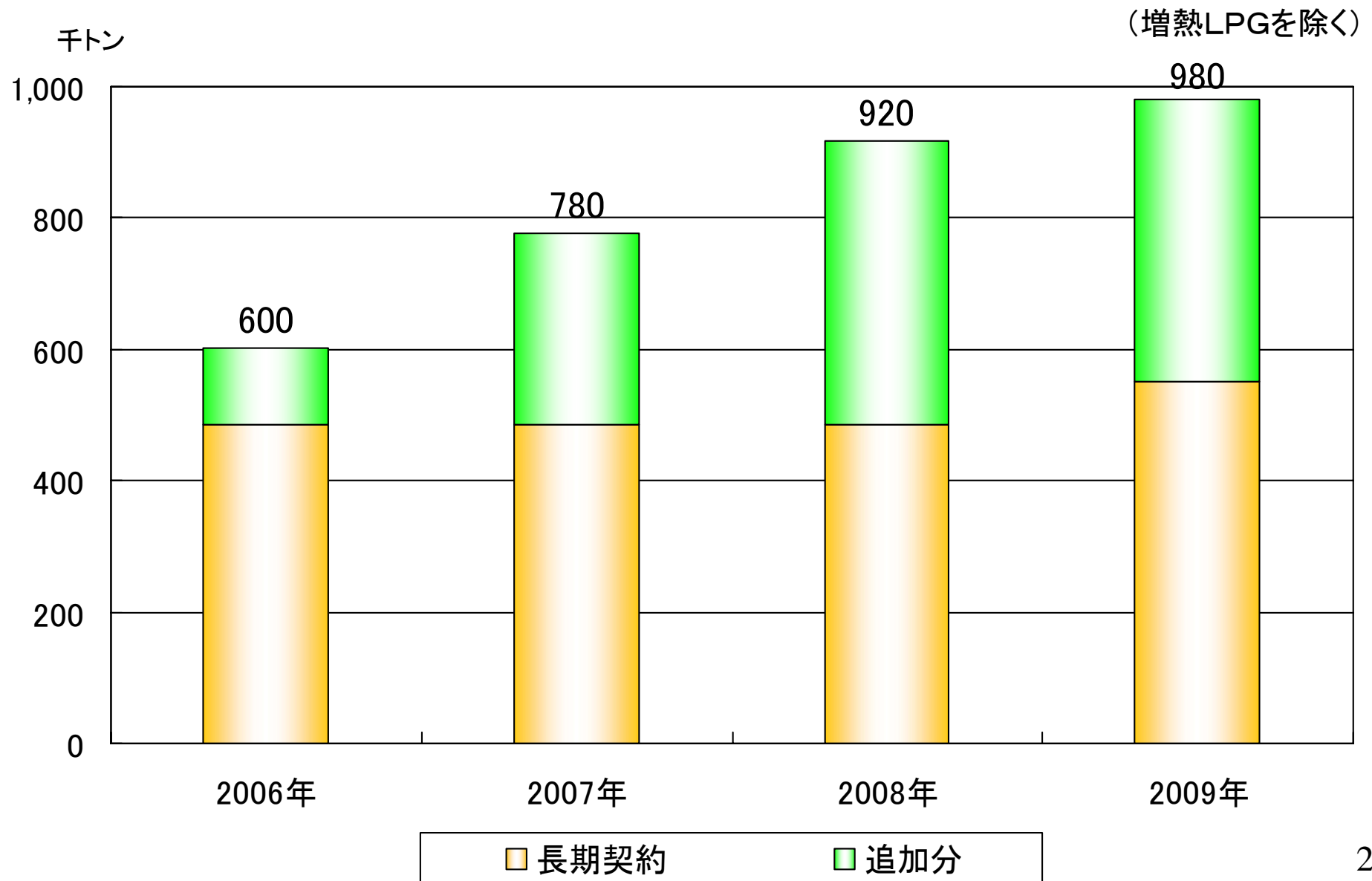
- 体験・体感型ショールーム
- 最新のガス機器の魅力を触れて、試して、実感
- ガスならではの心地よさを、自ら体感
- 富士、東部地区にもオープン予定



ガス販売目標(単体)



LNG需給見通し



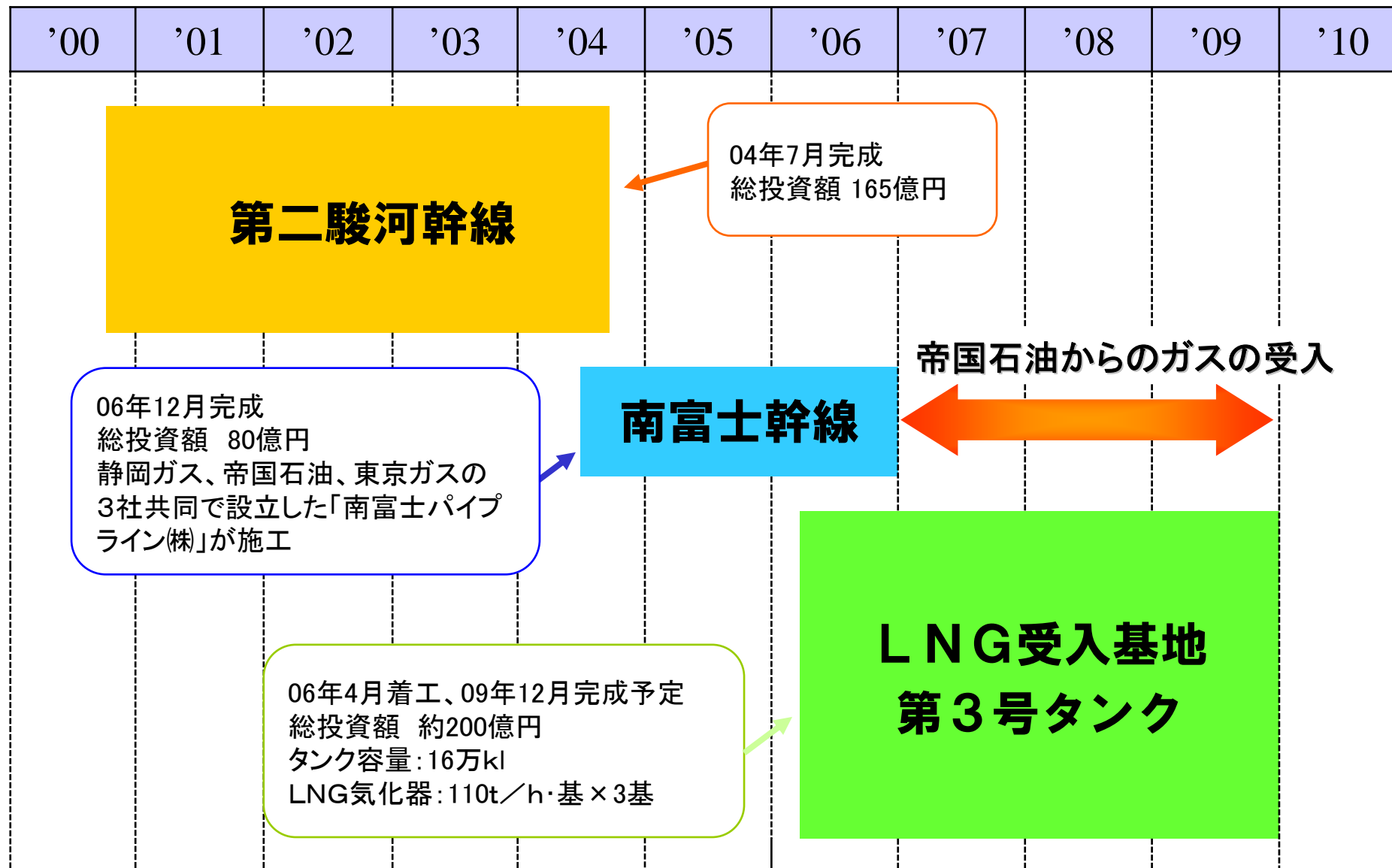
収支計画(連結:2007年~2009年)

(億円未満切捨て)

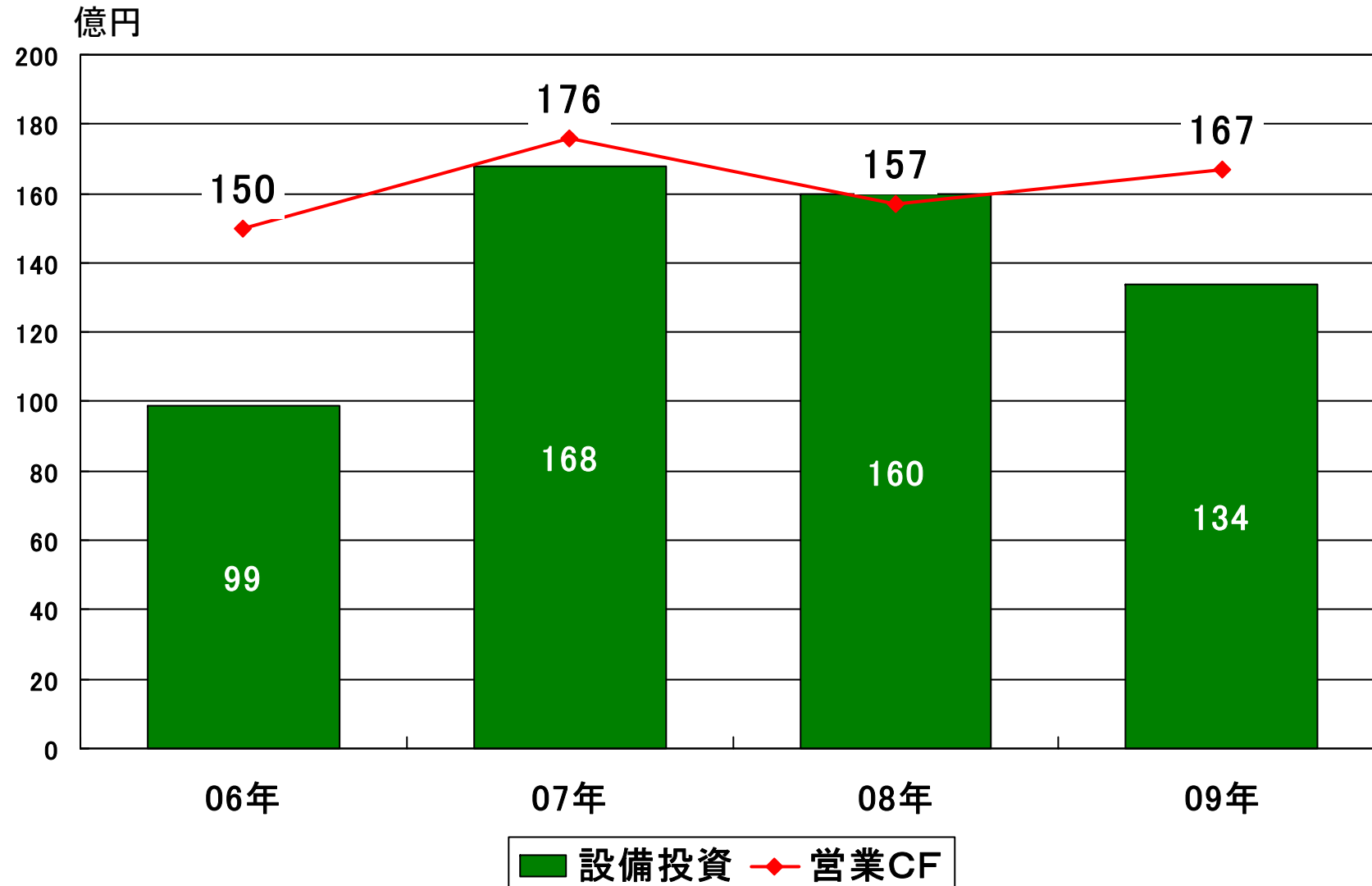
(単位:億円)

	2006年実績	2007年計画	2008年計画	2009年計画
売上高	778	942	1,057	1,139
売上原価	481	638	735	823
売上総利益	296	304	322	316
諸給与	81	91	95	97
諸経費	65	72	70	68
減価償却費 (うち第二駿河幹線)	71 (19)	71 (16)	75 (13)	74 (11)
営業利益	78	68	80	76
経常利益	74	62	72	67
当期純利益	43	33	38	36
為替レート(円/\$)	116.2	120.0	120.0	120.0
原油価格 CIF(JCC)(\$/bbl)	64.1	62.0	62.0	62.0

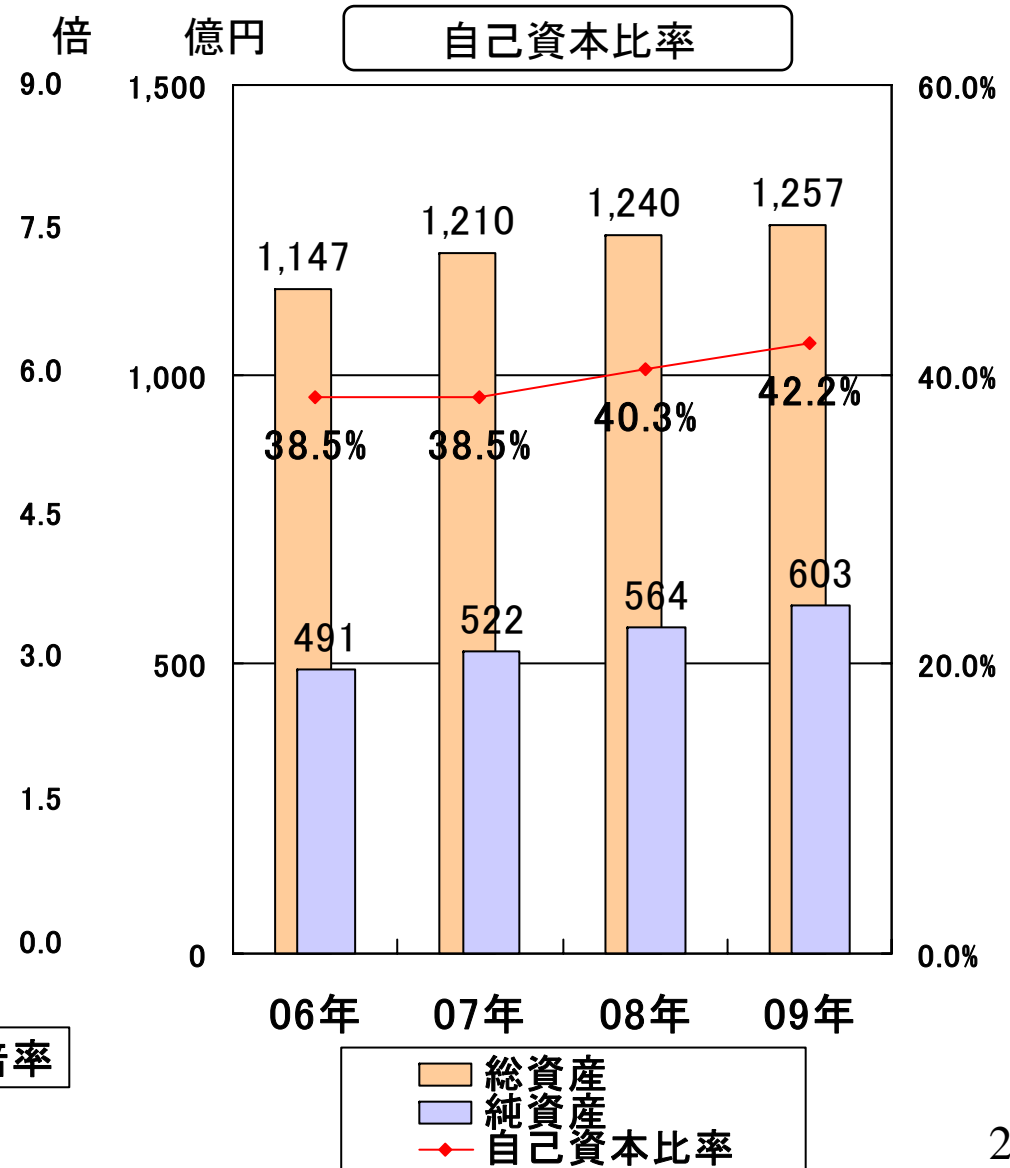
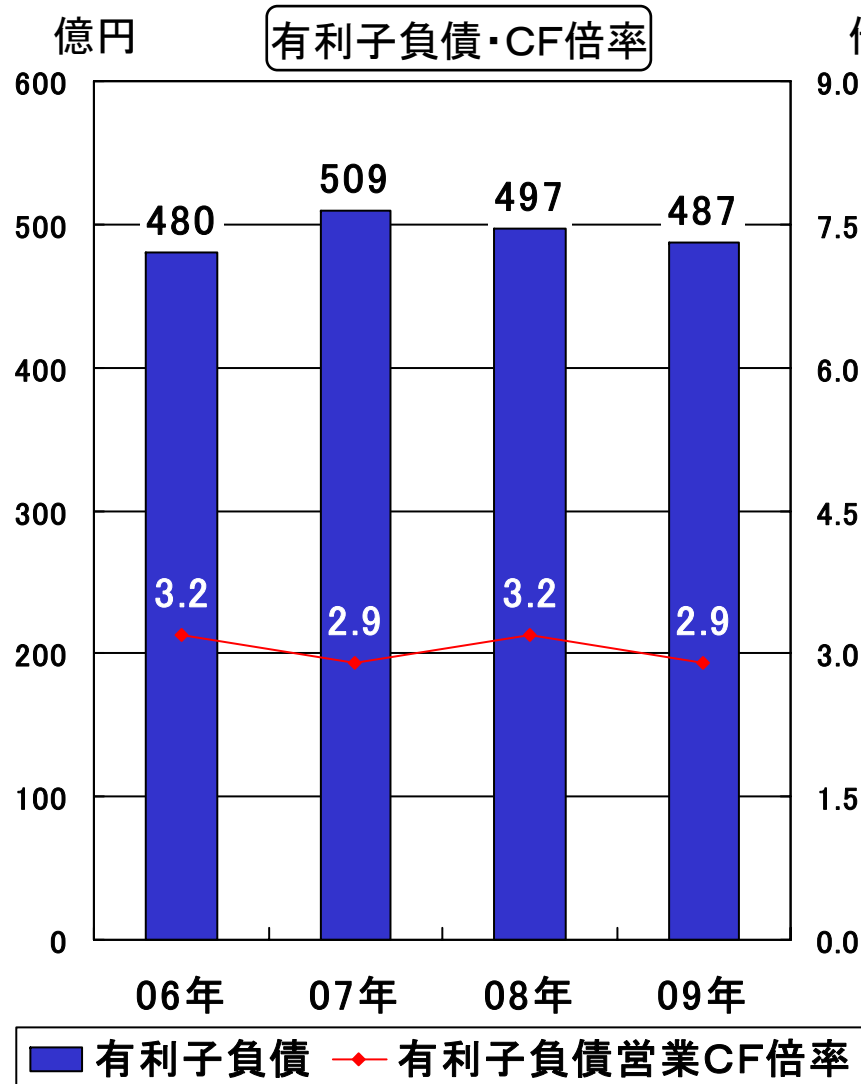
100万吨体制へのインフラ整備



営業CF・設備投資(連結)



有利子負債・自己資本比率(連結)



主要な経営指標(連結)

	06年実績	07年計画	08年計画	09年計画
売上高営業利益率 (%)	10.1	7.3	7.6	6.7
ROA (%)	7.0	5.8	6.6	6.1
ROE (%)	10.3	7.4	8.0	7.1
自己資本比率 (%)	38.5	38.5	40.3	42.2
有利子負債依存率 (%)	41.9	42.1	40.1	38.8
1株当たり当期純利益 (円)	57.3	43.9	51.0	47.9

売上高営業利益率 = 営業利益 ÷ 売上高 × 100

ROA(総資産営業利益率) = 営業利益 ÷ 総資産(期中平均) × 100

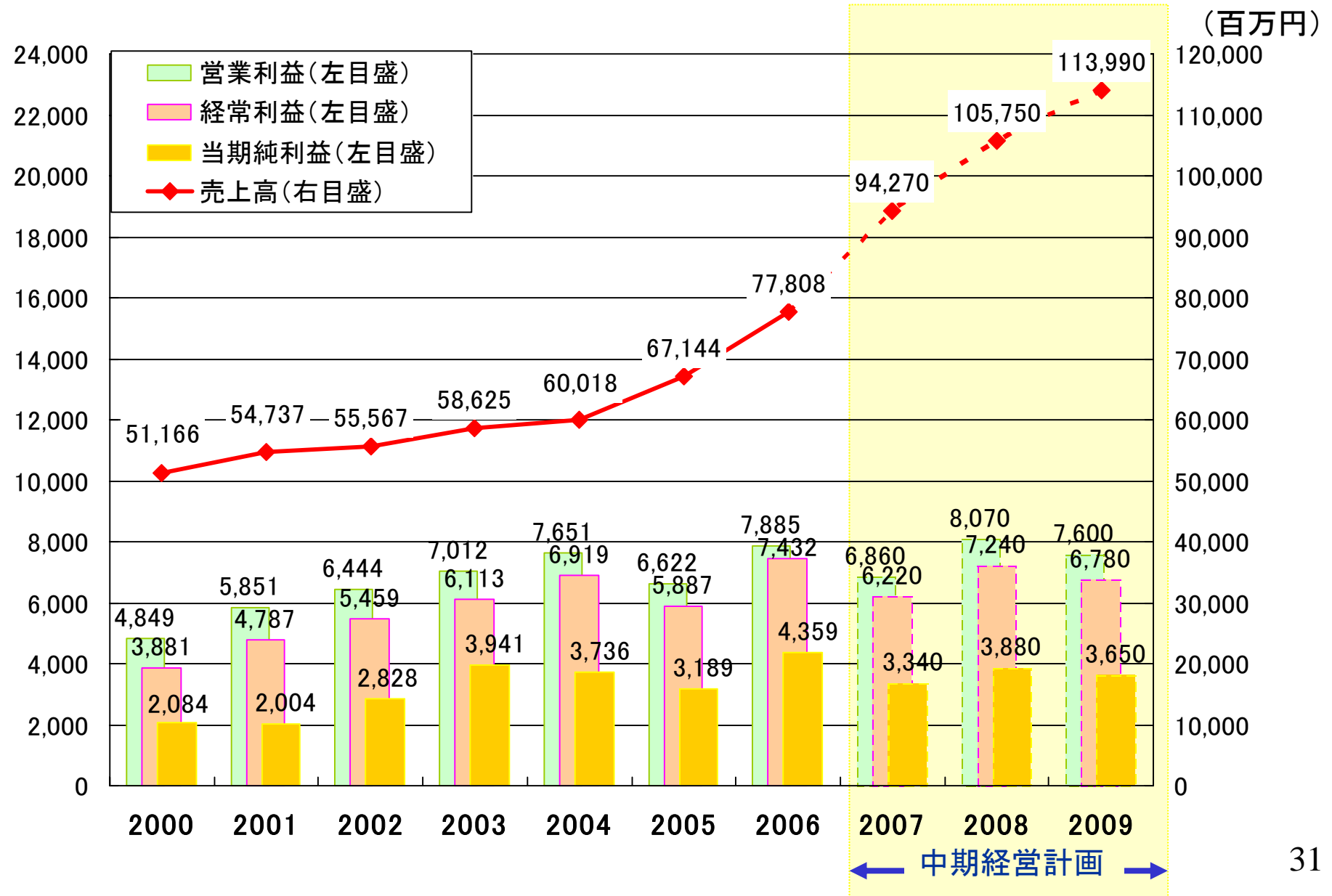
ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ {純資産 - 少数株主持分}(期中平均) × 100

自己資本比率 = {純資産 - 少数株主持分} ÷ 総資産(期末)

有利子負債依存率 = 有利子負債 ÷ 総資産(期末)

1株当たり当期純利益 = 当期純利益 ÷ 発行済株式総数(期中平均)

収支の見通し



IV トピックス

南富士幹線完成

